

福地温泉 森をひらくプロジェクト フィールドリサーチの報告

2023. 9. 5-6

福地温泉 森をひらくプロジェクトチーム

目次

- 目的
- 概要
- 座学の内容
- 旅館街ツアーの内容
- 祠探し
- 開発地の様子
- まとめと今後の取り組み

目的

- 「福地温泉 森をひらくプロジェクト」のメンバー全員で、福地温泉と開発地の森林に入り込み、地域の現状と課題の確認と共有化を行なう。
- 開発地の森林を活用し地域と連携した持続可能な事業として何ができるのかを今後みんなで探っていこうと確認し合う場

概要

- 日にち：2023年9月5日(火)～6日(水)
- 場 所：奥飛騨温泉郷 福地温泉
- 参加者：福地温泉 森をひらくプロジェクトチーム<19名>
福地温泉：6名 森奥福地温泉観光協会会長(旅館山水店主)、内山町内会長(民宿内山店主)、
中野副町内会長(旅館故郷店主)、端下様(御宿飛水店主)、沖本様(孫九郎社長)、
中野様(居酒屋「多羅の木」店主)
株式会社 飛騨の森でクマは踊る：4名+(日帰り参加1名)
岩岡代表取締役社長、松本代表取締役、江上、門井
株式会社ツバメアーキテクツ：3名
千葉代表、坂梨、木原
不易流行の会：3名
栗田(JPコーチ&コンサルティング株式会社代表取締役)、大田(FIKA FARM株式会社代表取締役)、
大橋(新岐阜興業株式会社代表取締役)
協力会社：3名 森とひとと木 臼田、合同会社216WORKS米野、かやぶき職人藤原

概要

- タイムスケジュール

13:00~13:10 自己紹介

13:10~13:20 今回フィールドワークの目的(大橋)

13:20~13:30 福地温泉とは?(福地温泉の皆様) 奥飛騨温泉郷とその中の位置づけ

13:30~14:00 開拓の歴史(50年史を使って)、見どころ(祭りごと、青だるなど、)、最近の取り組み(小水力発電、木花木花、ワークスペース)、課題(困りごとなど)

14:00~15:00 温泉街ツアー

化石館→石動の湯→石動神社→夏祭り会場→萬葉館→昔ばなしの里→朝市会場→

各旅館の前を通りながら舎湯→福知山登山口→公民館(ここから車両乗り合わせ)→小水力発電所→開発地

15:00~16:00 祠探し(案内役:内山町内会長)

16:00~17:00 開発予定地の草刈り、散策

17:00~18:30 宿泊者「孫九郎」チェックイン・打合せ、休憩・温泉

18:30~ 懇親会@「孫九郎」

9/6(水)

9:00~10:00 朝市

10:00~12:00 草刈り、散策、意見交換

座学の内容



座学の内容

- 旅館街の起こり
林業、農業(養蚕など)を行っていた(山の北側斜面のためなかなかうまくいかない)
温泉はあったが小規模。高度成長期に合わせ温泉を掘削し温泉宿を始める。
旅館ひだ路、長座、孫九郎が黎明期、
(ひだ路の祖父が化石(珊瑚など)を発見し化石館を始める)
- 文化・観光資源の継承
 - ・ 昔ばなしの里が村の中心、へんべとり、鳥げいなどの踊りを夏祭りとして
8月ほぼ一か月にわたり観光客向けに披露
5/12に石動神社に奉納する踊り(福地例祭)が一番大事。
これは地元のみで行い東京などにいる子供たちも帰ってくる。
練習は厳しい、年上の人から厳しい指摘がどんどん飛んでくる。
前転などハードな動きが要求されるが、担い手も40代後半が若手で大変。
担い手の継承も重要課題。(懇親会での話)
 - ・ 青だる、ライトアップなど地域みんなで準備、手入れを行ってる。

座学の内容

- 観光客の推移
 - ・ 団体客や旅館街としてはテニスコートを併設したり、九州の黒川温泉と提携して入湯手形を発行したり新しい取り組みをしたことで入込数は増えていった。
 - ・ 入込数：S61年10万3千人、H4年14万3千人、H12年14万5千人、R3年2万9千人、R4年3万8千人
S45新穂高ロープウェイ、S48乗鞍スカイライン、S53平湯トンネル、H9安房トンネル、H15マイカー規制
昭和終わりからH始めの奥飛騨慕情演歌の頃がピーク、H11年旅館14軒従業員933人→現在11軒564人
- 現在の状況
 - ・ じゃらんの人気投票で10年で5回第一位を獲得だが、内容を見ると静かで落ち着いた雰囲気、来てみたら安い割に良いとあまり喜べない。
奥飛騨では単価は高いが全国的に見ると安い。地元としては1.5~2割程度上げたい。
 - ・ お客さまは関東2~3割、東海4割、関西2割、
松本高山Big Bridge構想の中にあるが、関東のお客さまは長野県で止まってしまい、奥飛騨でどう泊まっていたただけるか思案中
 - ・ 予約はOTA(Online Travel Agent)がほとんどで団体客は受け付けていない。
外国人客はbooking.comがほとんど

座学の内容

- 現在の状況

- 連泊は2泊までが限界、夕食のメニューを変えないといけない。
連泊対応するには宿泊と食事を分離した宿食分離が必要
宿としても人手不足の中、宿泊のみの方が効率が良い
- 人手不足とインバウンド対応
宿にもよるが平日はインバウンド100%もある。
インバウンドは朝食一泊が多く飲食店が少ない福地は(夕食は1軒)で
夕食難民が発生している。
人手不足でお客さんが取れない状況

座学の内容

- 現在の取り組み
 - ・ 2017年「合同会社山里物語」を設立

電力の自給自足と収益を温泉街の街並み再生などの地域還元を視野に
地元資本と地元運営による小水力発電所を建設

2021年運転開始

現在、街並みライトアップや「古民家Café 木花木花」（東京から移住）を運営
（インバウンド対応や昼間の食事難民解消に貢献）

温泉街ツアーの内容

化石館

(福地では珊瑚など海底の化石が出る。ひだ路の祖父が自費で設立)



石動の湯



温泉街ツアーの内容

石動神社(富山・石川県境の石動山を本山とする山岳信仰がルーツ、「鶏芸」「へんべとり」が奉納される)



温泉街ツアーの内容

萬葉館 (民間企業運営によるワーケーションスペース)



夏祭り会場 (昔は音楽fesも開催されたとか)



温泉街ツアーの内容

舎湯
(宿泊客無料の足湯、冬は無料のあつなべ会、1ヶ月単位で各旅館で管理)



温泉街ツアーの内容

朝市会場入り口

福地山トレッキングコース入口



温泉街ツアーの内容

小水力発電所



温泉街ツアーの内容

飛騨山椒(ほとんどが東京方面へ出荷)



廃業した旅館の店主が建てたお城の跡



温泉街ツアーの内容

バス停(トトロがねこばすを待っていそうな…)

地元の人が手入れしています。

宿泊した孫九郎さんのフロントには宮崎駿さんのサイン色紙が3,4枚ありました。

2000年頃、毎年泊まりに来ていたそうです。



温泉街ツアーの内容

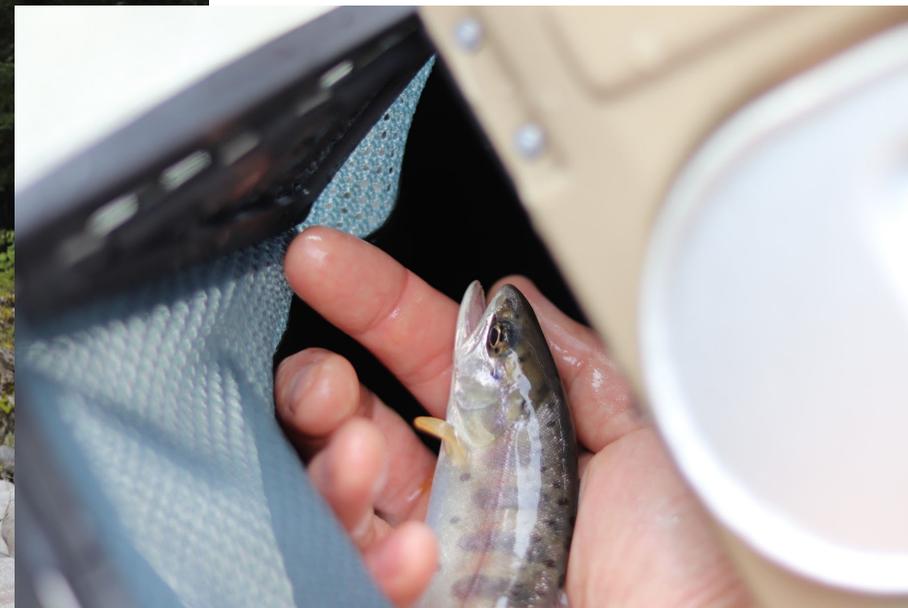


散策の風景



温泉街ツアーの内容

近くの平湯川で魚釣り



温泉街ツアーと祠探し 開発地の位置関係



祠探し

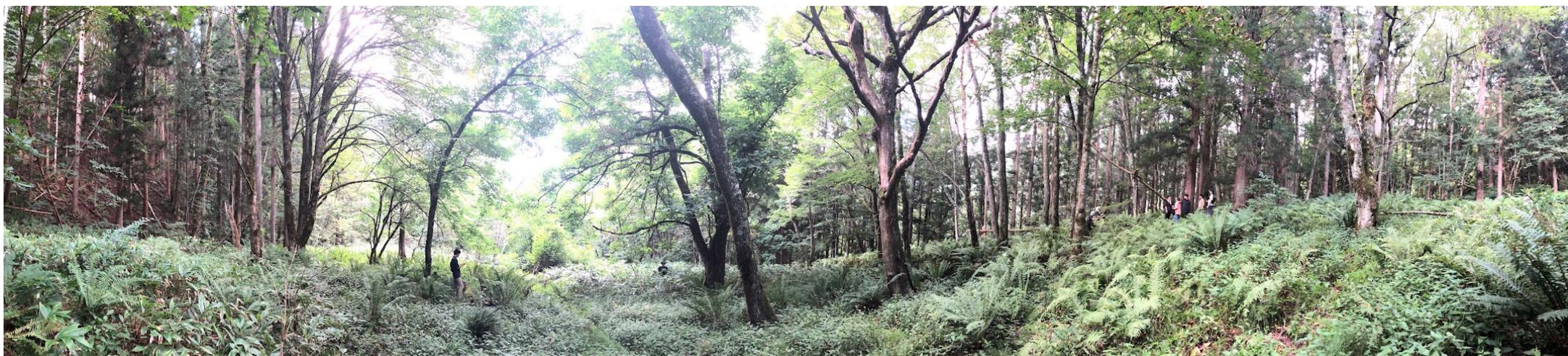


祠探し

福地温泉を火事や水害から守る「火と水の神様」が祀られている祠です。毎年年末に地元の方が手入れとお供えをしています。開発予定地を通過して山を15分ほど登ります。



開発地の様子



開発地の様子

植生が豊か



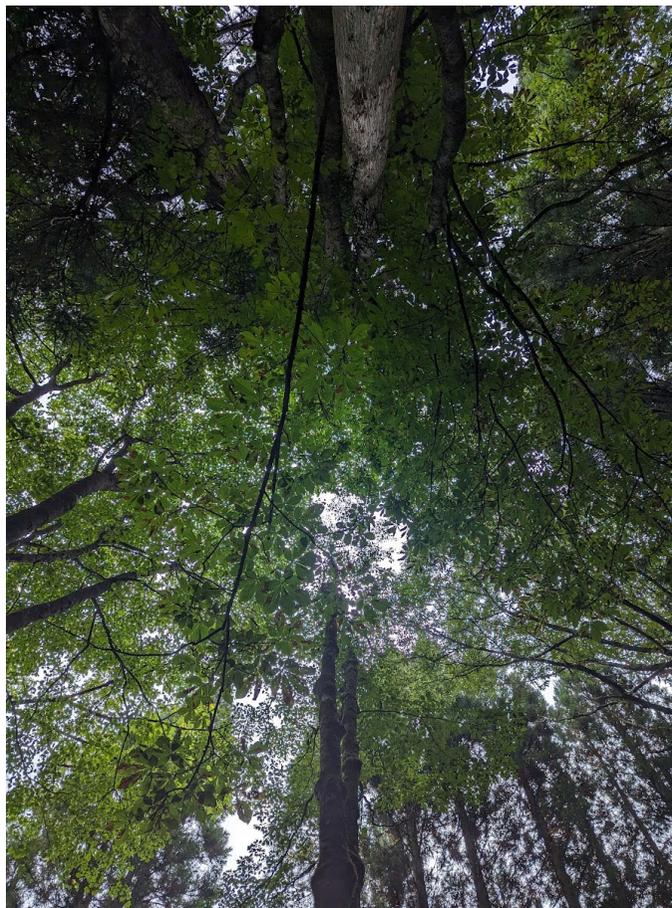
開発地の様子

くまざさの宝庫



開発地の様子

こんな風景が見えています



山菜取り(みょうが)に夢中



まとめと今後の取り組み



- 地元の方々は小さいころから知っていてまとまりが良く、新しいことにも積極的に取り組んでいる。
- 他の森への展開も期待している。(地元のみなさんも期待)
- 開発地は植生が豊かでコンパクトにまとまっている。がれきなど危険なものを取り除けば日中楽しめるいろいろなことができそう。
- 開発地は祠と温泉街を結ぶ結節点で温泉街をコンパクトにしたような斜面。日中のアクティビティと温泉を結びつける空間コンセプトとして生かしたい。
- 訪れるごとに発見がある所、イメージスケッチを一回ごと示していきたい。
- 9/27森林浴、10~11月カフェトレッキング&ハンモック、10~11月茅葺、12~1月スノーシュー+テントサウナなど地域のみなさまと関係者みんなで体を動かし体験・体感しながら事業化を探っていきます。
- 地元も町内会から福地温泉観光協会が窓口となって協力体制を強化していきます。

- 今回のフィールドリサーチは福地温泉の歴史、文化、自然、人のつながり、地域の課題と新しい取り組みを「福地温泉 森をひらくプロジェクトチーム」(ヒダクマ、ツバメ、森林浴の臼田さん、茅葺の藤原さん、216WORKS米野さん、栗田さん、不易流行の会のみなさん、岐阜県林政部、福地温泉観光協会、大橋さん、そしてなにより福地温泉のみなさん)で共有し船出することができました。
- 今後は具体的な取り組みを通じて、さらに協力者を増やし、地域を広く深くとらえながら開発地を整え、旅館街全体が活性化し事業の継続に向けたコンセプトを決めていきます。